



議会だより

けんぶす



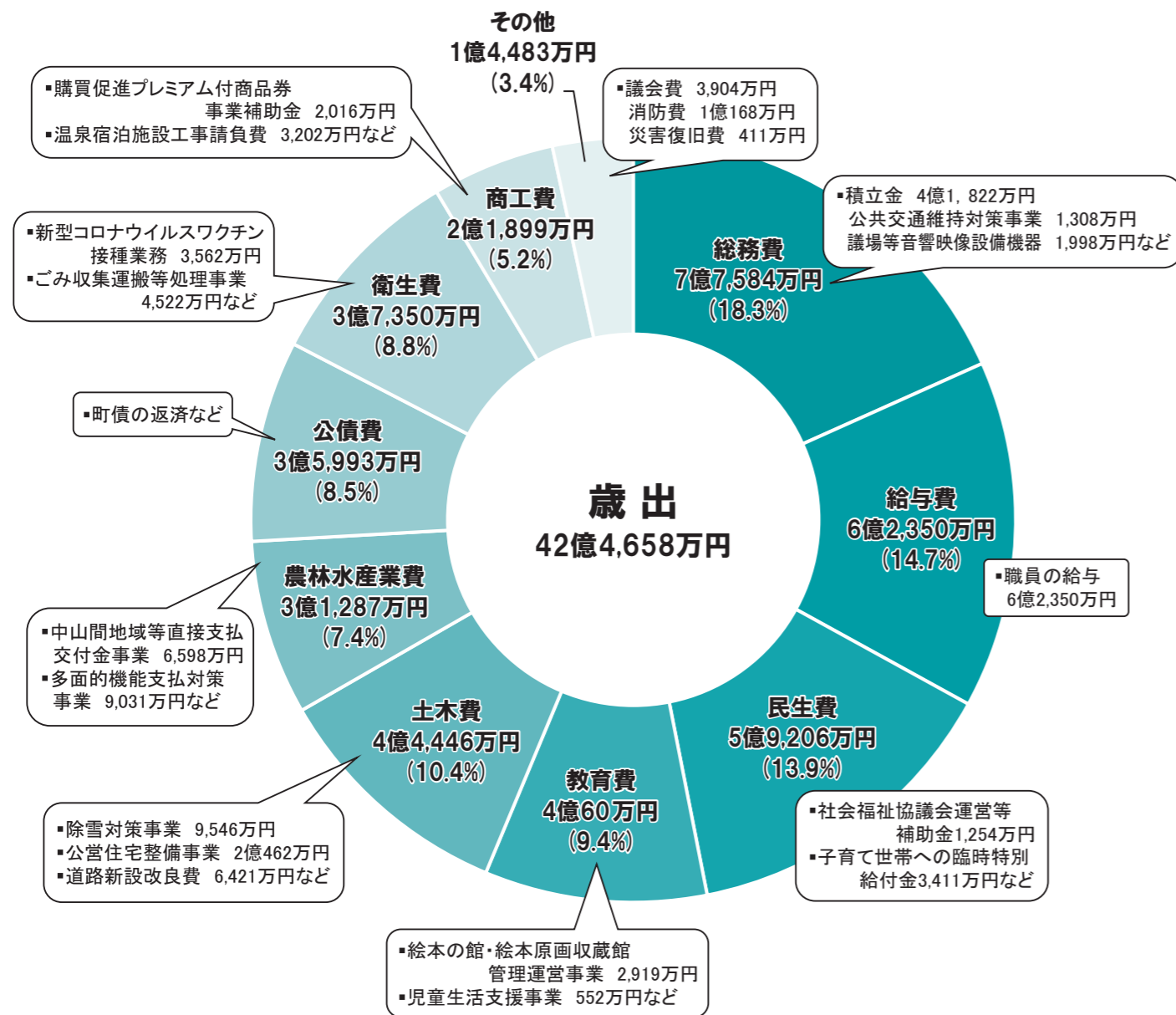
| | |
|---------------|-------|
| 令和3年度決算審査報告 | 2～3 |
| 決算審査特別委員会質疑 | 4～7 |
| 第4回臨時会・第4回定例会 | 8～9 |
| 一般質問に6氏が登壇 | 10～15 |
| みんなの声がまちづくり | 16 |

No. 141

2023年3月発行
(令和5年)

発行：剣淵町議会
編集：議会広報特別委員会
〒098-0392 剣淵町仲町37番1号
☎0165-26-9020 (直通)
<https://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>

各種基金に4億1,822万円を積立て



▪ 購買促進プレミアム付商品券 事業補助金 2,016万円
▪ 温泉宿泊施設工事請負費 3,202万円など

▪ 新型コロナウイルスワクチン 接種業務 3,562万円
▪ ごみ収集運搬等処理事業 4,522万円など

▪ 議会費 3,904万円
▪ 消防費 1億168万円
▪ 災害復旧費 411万円

▪ 積立金 4億1,822万円
▪ 公共交通維持対策事業 1,308万円
▪ 議場等音響映像設備機器 1,998万円など

▪ 職員の給与 6億2,350万円

▪ 社会福祉協議会運営等 補助金 1,254万円
▪ 子育て世帯への臨時特別 給付金 3,411万円など

▪ 絵本の館・絵本原画収蔵館 管理運営事業 2,919万円
▪ 児童生活支援事業 552万円など

▪ 中山間地域等直接支払 交付金事業 6,598万円
▪ 多面的機能支払対策 事業 9,031万円など

▪ 除雪対策事業 9,546万円
▪ 公営住宅整備事業 2億462万円
▪ 道路新設改良費 6,421万円など

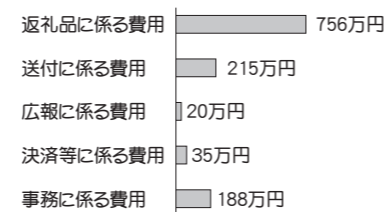
| | 歳入 | 歳出 |
|---------------|------------|------------|
| 一般会計 | 45億4,601万円 | 42億4,658万円 |
| 特別会計 | | |
| 国民健康保険事業 | 5億6,192万円 | 5億5,252万円 |
| 国民健康保険剣淵町立診療所 | 1億405万円 | 9,344万円 |
| 後期高齢者医療 | 6,062万円 | 5,805万円 |
| 介護保険事業 | 4億5,922万円 | 4億3,417万円 |
| 簡易水道事業 | 1億2,107万円 | 1億1,420万円 |
| 下水道事業 | 2億3,669万円 | 2億2,756万円 |

令和3年度ふるさと納税

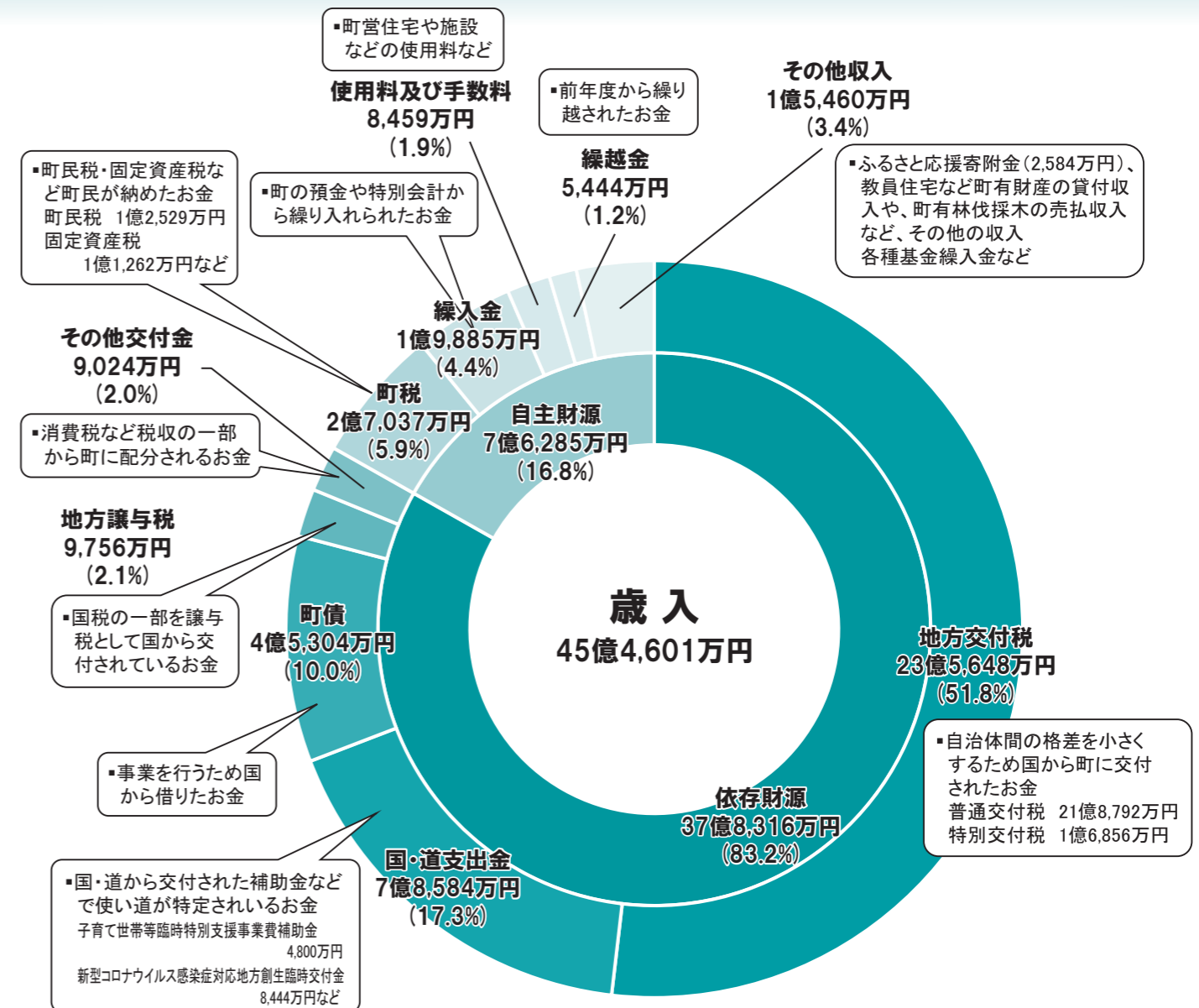
件数…1,205件
総額…2,584万円

ふるさと納税にかかる経費

1,214万円



令和3年度 決算審査報告



▪ 町営住宅や施設 などの使用料など

▪ 前年度から繰り 越されたお金

▪ ふるさと応援寄附金 (2,584万円)、 教員住宅など町有財産の貸付収入 や、町有林伐採木の売却収入 など、その他の収入 各種基金繰入金など

▪ 町の預金や特別会計から 繰り入れられたお金

▪ 町民税・固定資産税など 町民が納めたお金
町民税 1億2,529万円
固定資産税 1億1,262万円など

▪ 消費税など税収の一部 から町に配分されるお金

▪ 国税の一部を譲与 税として国から交付 されているお金

▪ 事業を行うため国 から借りたお金

▪ 国・道から交付された補助金などで 使い道が特定されているお金
子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金 4,800万円
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 8,444万円など

令和3年度決算審査特別委員会は、一般会計並びに6特別会計の歳入歳出決算について慎重に審議した結果、委員全員の賛成をもって認定すべきものと決定しました。

農業においては、国の臨時交付金を活用し、新たな農業に対する支援を実施したことは、新たな農業において今後のさらなる進展が期待されます。

高齢者世帯や単身高齢者が増えるなか、民生委員などによる見守りに加え、社会医療法人元生会と連携し理学療法士による介護予防の強化の取組みが行われたことは評価すべきであり、今後も、支えやすい仕組みづくりと支える人材の確保を継続して行えるよう望むものであります。

小中学校及び高等学校に通う児童生徒に1人1台、タブレット型パソコンを貸与できるように環境整備を進めたことで、学校と家庭における学びの環境が大きく変わりました。今後、学習環境のさらなる向上に期待します。

人口が減少するなかで、移住定住対策として住宅の新築、改修に対する助成などが行われています。剣淵町の住みよい環境を前面に出して子育て世帯をはじめ幅広い年代の移住定住を後押しする取組みを望みます。

既設公営住宅個別改善事業や東中央団地公営住宅の建て替え事業、元町東団地公営住宅などの除却解体工事に加え、道からの要望により次年度予定されていた建設工事及び解体工事が前年度で行われました。今後も住宅環境の充実、居住性の向上に一層力をいれていただくことを望みます。

限られた財源で必要な施策を効果的に進め、長期的視野をもって諸課題に取り組んでいくことに期待します。今後も、行政と町民が一体となって知恵を出し合いながら協働のまちづくりを推進し、町民が安心して暮らせる活力のあるまちとなるよう一層の努力を期待して委員長報告いたします。

令和3年度 決算審査特別委員会委員長報告書

委員長 岡 康 照

令和3年度

決算審査特別委員会質疑

決算審査特別委員会のなかで、
された歳入・歳出についての主な
質疑の概要を掲載します。



歳入

マイナンバーカード

竹内委員

マイナンバーカードの全国取得率49%に対し、町内では37%ほど。今後の普及対策は。

精進総務課長

職員には取得を促しており、町民向けに月1回夕方に申請受付をしている。文化祭会場内にも申請受付を設置することになっている。啓発を含め申請しやすい環境づくりを進めている。

歳出

人事評価システム

竹内委員

人事評価システム等導入業務の運用状況は。

長谷川総務課主幹

3年度に試行運用し、本町に合ったシステムで、職員向け研修会の開催及び、マニュアルづくりをしてきた。上司の評価が人によって変わるのではないように研修会で説明してきている。今後、給与や手当の部分の検討も考えていかなければいけない。

協働のまちづくりプロジェクト

村上委員

協働のまちづくりプロジェクト会議について、問題解決の方向性などの会議結果を伺いたい。

鴻野総務課係長

3年12月に出た意見を町長に提言している。そのなかには空き家活用、民間住宅を増やすこと、住環境の情報周知などがあった。4年度には移住窓口の重点的な設置を進めている。



スクールバス停留所

佐藤委員

バス停を家の近くにしてほしいという相談を受ける。バス停を移動する定義やできない理由は。

精進総務課長

路線上というのが基本。交差点から10m以上離して子どもの安全を確保するということもある。また民有地か町有地なのかという兼ね合いもある。要望があれば現状を確認し、そのなかで可能かを判断している。できない場合はその旨をしっかりと説明している。



GIGAスクール構想

大澤委員

GIGAスクール構想の部分、活用の課題として教職員がどのように活用しているか書いてあるが、同じ義務教育でも教員によって差がつかかねないと思う。3年

度ではこういったところが良かったとかここをもう少し進めたいなどあるか。

萩尾教育課長

小中高含めて、コロナで濃厚接触者等になった場合でもタブレットを持ち帰り、オンラインで授業に参加できるように体制ができています。上川教育局の指導官からも剣淵の取組みは進んでいるとの評価はいただいている。教室にはカメラがついていないため、先生方が授業しながら授業風景を子どもたちに伝えるための操作もやっていたいかなければならない。そういうサポートも設備的に必要だと感じている。自宅、放課後でも活用できるようにしていく必要がある。

※GIGAスクール構想とは

全国の学校で義務教育を受ける児童・生徒に1人1台の学習用PCや高速ネットワーク環境などを整備し、子どもたちの個性に合わせた教育の実現を目的としている。

各種検定

卯城委員

各種検定受験補助金、検定の内容、受験者数、合格率は。

金村教育長

数学検定受験者数22名中合格者数15名で合格率68.2%、漢字検定受験者数54名中合格者数15名で

合格率27・8%、英語検定受験者数66名中合格者数33名で合格率50%。

部活動

佐藤委員

生徒数が減少しているなかでどのような活動しているのか。

佐藤教育課長補佐

スポーツについては野球、卓球、ソフトテニス、文化部については吹奏楽の4つが活動している。現状単独で活動はできているが将来的には心配。令和7年度までに地域移行を推進するよう国から通知がきている。部活動のあり方については説明会を開催し、関係者による検討会を設置し進めていく予定。

生徒募集

大澤委員

生徒募集事業及び未来のしんろ系列について、地域みらい留学に加盟しているのか。

板東高等学校事務長

普通科にも対応できるように設置をしたところ。入学者21名中4名が未来のしんろを選択している。絵本や地域産業の探求学習などを展開している。全国に向けた募集

や地域みらい留学も含めて協議会で検討していく。

理学療法士

酒井委員

理学療法士派遣、どのような事業を行っているのか。

長谷川健康福祉課係長

主に体操教室、サロンへの助言や個別訪問、福祉用具の貸与、購入、トレーニングルーム使用のパンフレットの作成など尽力いただいている。

福寿寮

竹内委員

高齢者等福祉寮の空きがあるが、魅力がないのか、それとも人間関係の問題なのか。今後の打開策は、

板東健康福祉課長補佐

定員10名、現在は4名の入居となっている。現在の入居者はすべて女性。周知チラシ等出して問合せが1件あったが入居には至らなかった。対象として、条件でなかなか当てはまる方がいないと感じている。引き続き募集は進めていく。

卯城委員

福寿寮の関係、過去に議会で調査したときに、布団では高齢者の

負担になるためベッドを入れてはどうかという意見が出ていたがその後の検討は。

尾門健康福祉課長

数年前から順次、畳からフロアカーペットに改修している。令和3年度も改修を1室終えている。入居されている部屋も順次空きが出たら改修していく。



買い物弱者

村上委員

高齢者生活支援事業、スーパーが閉店して移動販売がなくなってきたが、利用されていた方はどうしているのか。

長谷川健康福祉課係長

買い物支援については、先日アンケート調査を実施している。具体的な集計と判断はこれからだがトドックに変更したり、カケルくんという販売車も来ており、買い物手段は多岐にわたっている。そのような手段について情報提供することにも、買い物物の送迎についてボランティアでの対応が可能か、生活ささえ愛けんぶち協議体のなかで話し合いを進めて行く予定。



コロナウイルス感染症

竹内委員

コロナ感染者累計300名を超え、増えてきている。複数回感染

した方の把握は。また、感染した場合の道からの物資が来るまでの取組みは。

尾門健康福祉課長

いままで保健所からの感染の報告があったが、特定できないため複数回感染した方の情報は分からない。診療所で検査もしているが陽性が陰性かの判断で細かい感染数までの把握には至っていない。

支援物資については、今は本人の要請によって道から送られてくることになっている。町として個人の特定ができないので事業とすることは難しい。重症化リスクがある方の情報は分かるので酸素オキシメーターは提供している。

農地幹旋

佐藤委員

農地幹旋の売買価格でもめることがある。幹旋の価格の決まりはないとのことだが、スムーズな幹旋のためにもルールを示してもらえたらと思うが。

中上農業委員会事務局長

上物については、売買決定したあとに当事者間で処理してもらおうというのが今までの流れ。今回作業賃が加わったところで、今後も続いていくかどうか。今までは上物については肥料代と種子代というところで進んできた経過があるが、

幹旋基準にはそこまで書いていないため農業委員会で状況見ながら協議していく。

担い手対策

竹内委員

担い手対策について支援の実践事例は。

原農林課主幹

担い手対策については、新規就農奨励金支給が2件、町外の農業に興味のある方2名を受入れ農業体験を行った。3年度、新たに剣淵町経営継承発展支援事業補助金として1件100万円の支出をしている。農業を継承された方を対象に、経営発展させるために補助するもの。また結婚祝い金も2件実績があった。



環境保全型農業直接支援対策

佐藤委員

環境保全型農業直接支援対策事業、3年度は32戸ということだが、化学肥料が高騰しているということとどう捉えているのか。また、今後どのように推進していくのか。穴戸農林課長

化学肥料や農薬の使用低減や環境に優しい農業の推進ということで、一定の取組みを行っている農家について面積に応じて支援されるもの。ハードルもあり取り組みづらいという声も聞く。町としては資材の高騰もあるなかで肥料の低減を推進していただきたいと考えている。環境に配慮する農業の支援はこれがメインとなるので進んでいく。

レンタサイクル

酒井委員

まちの駅などで行っているレンタサイクルの利用率を上げていく方策は。剣淵に来る観光客だけをターゲットにするだけでは弱い。1市3町広域で連携して利用率を上げていくべきでは。

鈴木町づくり観光課係長

レンタサイクルの稼働率について、総レンタル数118台、まちの駅11台、レークサイド桜岡63台、

道の駅19台、絵本の館5台、カフェノール20台。山下町づくり観光課長

今後は、ホームページやチラシ等周知を図っていききたい。近く会議があるのでその場で協議していきたい。



広告プロモーション

大澤委員

観光費、3年度で様々なプロモーション行ってきたと思うが、Youtube広告プロモーションとあるが、配信エリアが札幌・旭川というのはどういう意図か。

鈴木町づくり観光課係長
3年度はまだコロナ禍であり、道外からの観光客が見込めないだろうということで道内で人口が集中している札幌・旭川を配信エリアとした。広告の内容としては、剣淵町の食をテーマとしたものと観光スポットをテーマとしたものを作成した。



ワーケーション

竹内委員

第3セクター施設滞在型循環整備事業、3年度で完成してその後PR含めて活用をどのように考えているのか。

山下町づくり観光課長

昨年冬頃施設整備が整ってちょうどマツダテスト隊員が来ていた

ため宿泊していただいて意見を徴収した。その後、一般客にも開放している。WiFiの環境がなかなか整わず予定より遅れる見込み。設備整い次第ワーケーション利用の宣伝をしていきたい。

公営住宅

佐藤委員

公営住宅について、当初からクローズにカビが生えていて、退去するときに自己負担させられるのか不安を感じている人がいる。全部が住んでいる人の責任なのか。一度見てほしいと役場に相談したこともあったが全然来てくれなかったらしいが。

孫城建設課係長

住宅のカビについては、個人によってかなり違う。相談を受けた際はなるべく見に行くことを心がけており、基本的に放置することはないようにしている。退去されるときにぞうきんで拭き取ってもとれないものは経年劣化ということと自己負担にはならないようにしているが、掃除もしていない状況だと自己負担もやむを得ない。現在は入居者立ち会いのもとでチェックリストなどでチェックし、気になる点は写真を撮ってから引き渡しするようにしている。



元町東団地公営住宅

酒井委員

元町東団地公営住宅除却解体工事、まだまだ残っている状況。空いている場所をすべて除却できるようになるにはどれくらい年月がかかるのか。また、移転補償費の1戸あたりの金額は。

孫城建設課係長

移転については要綱に基づき1件あたり13万1千円。

杉村建設課長

現在13名入居中であり、棟数としては11棟15戸残っている。空き次第第1〜2棟ずつ解体している。

移転の声かけもしているが、高齢の方が多く引っ越しが大変であることからなかなか進まない。減免の方法も考えていきたい。

経常収支比率

大澤委員

令和3年度決算全体を通して、コロナ禍の影響で相当な基金繰り入れがあつて経常収支比率も81.3%ということと、数字だけ見ると財政的に大分改善されたと思えなくもないが、実情は不用額で最終的にこういう数値に収まったということだと思ふ。厳しい予算編成のなかで最終的に帳尻が合いましたというような進め方は危機感がある。このままでは町の経済が停滞していくことが危惧される。町が活気づくような進め方をしてほしいが。

精進総務課長

結果的に2億基金繰り入れ、4億の基金積み立てということになった。コロナによる事業縮小が主な要因であるため、コロナ禍が収束して執行ということになれば、経常経費は80%後半であるということと理解してほしい。予算の段階で地域の経済を鑑みながら入ってくるものと出るもののバランスを考えたうえでできる範囲で努力していきたい。

第4回臨時会

10/25
～
11/1

会期は8日間。条例の一部改正と補正予算のほか、令和3年度各会計決算について審議を行い可決しました。

条例の一部改正

●公衆浴場（健康福祉総合センター内）入浴料金を北海道の公衆浴場入浴料金統制額上限と同額の480円に改定しました。



補正予算

●電気・ガス・食料品等価格高騰
緊急支援給付金

●一般会計に8868万円を追加
しました。

主な内容は、電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

2500万円、燃料高騰対策灯油等助成支援費1953万円、社会福祉施設等運営法人物価高騰対策支援交付金420万円などです。

簡易水道の基本料4ヶ月減額

●簡易水道事業特別会計に一般会計から685万円を繰入しました。
主な内容は、簡易水道区域内の一般家庭用基本料金（1731円）を4ヶ月減額するための収入補填分です。

質疑

大澤議員
経常収支比率が高い数値で、剣淵町の予算はカツカツの状況が続いていたが、数字を見ると急激に改善されている。その要因は。

中村副町長

新型コロナウイルス感染症に係る支援金、交付金が必要な要因。その他、会議がリモートになり旅費が節約、イベント等が中止となり節減できた。

決算認定

令和3年度各会計決算を認定

●令和3年度一般会計のほか6特別会計決算を全て認定しました。

第4回定例会

12/20-21

定例会の会期は2日間。一般質問には6名が登壇。議案は条例の制定・一部改正、補正予算計14件、専決処分報告が1件あり、慎重に審議を行い全て可決しました。

条例改正

上下水道料金を改定

●剣淵町給水条例の一部を改正する条例

家庭用の基本水量を8立方メートルから7立方メートルに、営業用、団体会用、学校用、浴場用、福祉施設用、酪農施設用、共用栓の基本料金と超過料金を5%改定する。

●剣淵町公共有下水道条例の一部を改正する条例

●剣淵町農業集落排水施設条例の一部を改正する条例

補正予算

東中央団地公営住宅

建設工事ほか

●一般会計に2億966万円、国民健康保険事業特別会計に3505万円、国民健康保険剣淵町立診療所特別会計に332万円、簡易水道事業会計に246万円、下水道事業会計に100万円を追加し、後期高齢者医療特別会

計から182万円、介護保険事業特別会計から128万円を減額しました。

主な内容は、一般会計では東中央団地公営住宅建設工事1億8103万円、総合庁舎修繕料132万円、農業対策補助事業189万円などで、国民健康保険特別会計では療養給付費2600万円、高額療養費830万円、国民健康保険剣淵町立診療所会計ではパートタイム職員報酬96万円、看護師報酬105万円、簡易水道事業会計では電気料225万円、下水道事業会計では電気料61万円などで、後期高齢者医療特別会計では後期高齢者医療広域連合納付金を182万円減額し、介護保険事業特別会計では、一般管理費16万円を追加し、一般職の給料・手当・共済費から145万円を減額しました。



質疑

竹内議員

燃料高騰対策灯油等助成券配布事業で、灯油を使用しない家庭に現金支給はどうか。

精進総務課長

家庭で燃料として、灯油、薪、電気、ガスと掌握しているが、現金は町外に流出することを考慮して町内事業者で使用できる燃料券とした。

酒井議員

中小企業等燃油価格高騰対策支援助成金の交付の一部を商品券で配布できないか。

山下町づくり観光課長

今回の助成金の目的は、燃料費の高騰、値上がりに対する事業者の影響緩和の支援で幅広く中小企業者が活用できる方法として現金給付とした。



反対討論

竹内議員

公営住宅建設について、省エネゼ口カーボン仕様の設計を行うと言われたが、資料を見ても設計の詳細がわからない。2億円近い補正であるのに資料による説明がない。事前の議員協議会でも、大規模な補正を行うという説明もなかった。諸手を挙げて賛成できないので反対討論とさせていただきます。

賛成討論

大澤議員

公営住宅に対する懸念はあるが、昨今の新規入居予定者の状況や、今は積極的に幅広い世帯に対応していく姿勢が示されたので、今回の事業は妥当と判断し、賛成討論とさせていただきます。

採決の結果、賛成7名、反対1名で可決されました。

専決処分報告

● 一般会計に11万円を追加しました。

主な内容は、議員期末手当(当初予算不足分) 11万円です。

議会にタブレット導入

● 定数等議会改革特別委員会中間報告

1 調査項目

適正な議員定数及び議会運営等議会改革に関する調査

2 調査の経過

令和4年3月16日に設置された本委員会は、議会改革に関する調査で必要関係資料の収集を行い、6回の特別委員会、2回の先進地市町議会の視察を行った。

3 調査の結果

町議会本会議においてタブレットを導入し令和5年度から定例会等にてペーパーレス化を図る。また、議会基本条例を制定することとし、その内容は今後検討する。

議員定数についての議論は、検討にあたり近隣町村議会の議員定数状況を参考とするため、統一地方選挙後に行う。



選挙

令和5年1月16日の任期満了に伴い次の方々の議長指名に同意しました。

● 選挙管理委員

鈴木 幸男氏

渡辺 祐一氏

鈴木真喜子氏

細田 正勝氏

● 選挙管理委員補充員

高橋 正尚氏

足立 智行氏

鈴木 弘美氏

前内 千景氏

藤本町

屯田町

南桜町

屯田町

屯田町

元町

旭町

西町

※1月17日に行われた選挙管理委員会において委員長に鈴木真紀子氏、職務代理に細田正勝氏が選任されました。

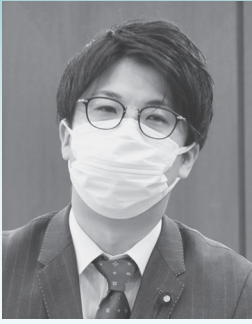
要望意見書

2件を採択しました

● 所得税法第56条及び関連条項の廃止を求める要望意見書

要請団体：旭川民主商工会婦人部
● 物価高における農畜産物の適正価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策等の強化に関する要望意見書

要請団体：剣淵農民連盟



大澤秀明 議員

主要スーパーの閉店により 町民の不安は高まっているが町長の考えは

町長 身近で簡単に買い物ができる環境整備・維持は
不可欠であり喫緊の課題

大澤秀明 議員

主要スーパーの閉店で町民の生活への不安は高まっている。現在関係機関が対応を協議中との説明を受けているが、今後関係機関への働きかけを強め、早期に現状を脱却していかなければならないと思うが、町長の考えは。

早坂 町長

喫緊の課題であり、最近では「トドック」等が町内各所で見られるが、時間の制限などで利用できない方もいる。身近で簡単に買い物ができる環境整備・維持が不可欠である。現在早急に後継事業者を招致できるように関係機関へ働きかけを行っているところであり決定したら進出スーパーと現状課題を協議し、より利用しやすい提案を進めていきたい。

大澤 議員

町がコロナ交付金で購入した移動販売車は現在使用されていない状況にある。予定外の状況であることは理解できるが、このまま未活用で維持費だけかかるのは損失が大きいの。何か今後に向けた手立てはあるのか。

早坂 町長

現在は使用していないが、後継

事業者が確保できた場合には移動販売車の活用について事業者と相談をしていきたい。

大澤 議員

民間で移動販売車をフランチャイズ化して個人事業主を募り展開している会社等もある。目先を変えて利用してくれる事業主を公募するなど、幅広い可能性を模索することも必要では。

早坂 町長

活用方法も含め少し検討する時間をいただきたい。

剣淵町子ども子育て 支援計画について

大澤 議員

現在は令和6年度までの第2期計画が進められている。このなかでアンケート結果や課題等にも記されているが、保育サービスの充実に関することが重要視されている。一方で、現状は課題解決に向けた検討の場は停滞していることが見受けられる。今から第3期策定に向けて様々な観点から深く議論を進め町の子育て支援計画を進めていくべきではないかと感じるが町長に伺いたい。

早坂 町長

ニーズ調査のなかでも「小児医療体制の充実」「保育所などの充実」が多かった。新たなサービスの検討として延長保育、休日保育、病児保育等計画に盛り込んだが人員や場所の確保等の問題があり検討が進んでいないのが実情である。認定こども園への移行については、第2期では記載をしていなかった。第3期に向けて今から検討を開始し、剣淵町の子どもの未来を確かなものにしていきたい。

大澤 議員

コロナ禍の対応や、サービスの多様化が施設同士の競争を激化させ、現場は疲弊し子育て関連施設の事件のニュースも多い。町では公営一つなので競争にはならないが逆に先進的な取組みは停滞してしまう懸念がある。そのような急激な変化は現場の混乱を招くだけであり、現場と管理側の溝が深まりかねない。町長が先頭となりしっかりと指針を示していかなければならぬと思うが。

早坂 町長

様々なことを模索しながら次期計画を策定し、剣淵町の子育て支援は良くなったと実感できるようなものになるよう進めていきたい。



酒井 修 議員

最近のランドセルは高い物だと一つ10万円以上だが、負担を軽くする対策がないか

教育長

保護者が、ランドセルについてどのように考えているのかのアンケート調査は、今後検討していきたい

酒井 修 議員

新1年生がランドセルを背負い通学する風景は微笑ましいが、最近のランドセルは高い物だと一つ10万円以上の物もあると聞いている。入学時には、机等様々な出費があり、一般の家庭は大変な苦勞をしていると思う。ランドセルは新1年生にとっての象徴ではあるが、そういう部分で負担を軽くする何らかの対策がないか伺いたい。

金村 教育長

私も「新1年生用ランドセル」という概念を持っていたが、教育委員会としてはランドセルの指定はしていない。道内においても指定しているところは少ないと思う。ランドセルの選択については、各家庭の判断であり、これについて教育委員会が「いくら以上はダメですよ」とは申し上げにくい。

酒井 議員

ある学校ではバックパックという、昔でいうナップサックを利用していているところもあり、これは耐久性はわからないが安い。またあるところではランドセルリュックという物が売っており、業者のキヤッチコピーでは「ランドセルより軽くて自由。リュックより安全

で丈夫」。どこまで信じられるのかという問題もあるが、そういうような対応をしている学校もある。一度どのような状況になっているのか調べてみてはどうか。

金村 教育長

今、言われたバックパック、ランドセルリュック等、これらについてはいわれたとおり、従来のランドセルに比べると、軽量で水にも強く6年間対応できるような物もあると聞いている。

酒井 議員

一番大切なのは、新入学児童と保護者の意向で、高騰化の問題を、現状で納得しているなら問題ないと思うが、これだけランドセルが高くなってきたという部分においては、一度意向調査として、アンケートを取って、データをまとめて傾向と対策というか、みんなが納得できるようなヒントが、出てこないのかなと考えるが、どのように考えるか。

金村 教育長

これは保護者に対して、先入観で「ランドセルなんだよ」ということではなくて、「ランドセルでなくても大丈夫なんだよ」という認識を持ってもらうことは必要だ

と思う。保護者が、ランドセルについてどのように考えているのかについてのアンケート調査は今後検討していきたいと思う。現在、小学生で1名、ランドセルリュックで通学している子がいる。

高騰化に加え、カバン、ランドセルの自身は、平均すると5キロぐらいになっており、ランドセルが1キロ以上となると、かなり子供たちにとっては負担になっている状況にある。そういうことも踏まえて、ランドセルがいいのか、ほかの物がいいのかということについては、保護者の判断のなかで考えていただければと思っている。



酒井議員は「公営住宅におけるペットの飼育」についても質問しています。



早乙女晃隆 議員

じんじん号の運行状況と今後について

町長 必要とする改善については適宜努めたい

早乙女晃隆 議員

本格運行から8年が経ち料金改定や増便・連絡施設追加など検討変更されてきた。高齢者運転免許自主返納等支援事業と「じんじん号」運行継続課題に対する対策を伺う。

早坂 町長

乗合自動車「じんじん号」の増便で、利用者の増につながるのではないかと考えられるが、利用者が固定化しており、連絡施設間の利用状況も、ほぼ診療所間の利用となっている。運行にあたる土別ハイヤーの通常営業の妨げにならないことを考えると、増便は現実的ではない。昨今の燃油の高騰等のあおりもあり、令和5年度の1便実車運行費用の引上げを聞いており、利用者の負担の見直しも考えなければならぬ。

次に、高齢者運転免許自主返納等支援事業は、当事業の利用者が少ないように感じられると思うが、運転免許証の返納はあくまでご本人の意思によるもので当事業の申請を経て、移動手段として「じんじん号」利用を助成する事業なのでご理解願いたい。なお、両事業とも住民向け周知不足が否めない

ため、町の広報紙などで定期的に周知するよう改め、必要とする改善については適宜努めたい。

早乙女 議員

高齢者運転免許自主返納等支援事業について、利用券の有効期限が2年しかない。期限内に使いきれなかった場合の措置はないか。

早坂 町長

会計上可能であれば、残り枚数の期限が来てしまった場合は差し替える方向で検討をしたいと思う。

生ごみ処理機助成について

早乙女 議員

生ごみ用のごみ袋は分解されやすくなっているため劣化しやすく、各家庭では1週間分工夫して出している。町で生ごみ処理機の購入助成をする考えはないか伺う。

早坂 町長

生ごみの処理に関しては2町広域生ごみ処理場で十分に処理できているため、現状では助成は難しいと考える。和寒町と協議のなかで、生ごみのさらなる減量化を図るべきとの協議に至った場合には、

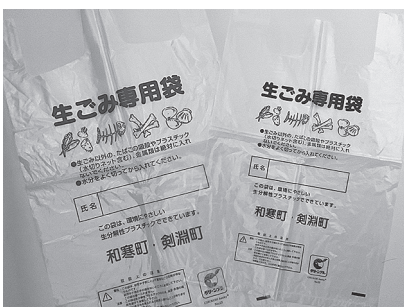
生ごみ処理機やコンポストの導入も視野に入れて研究するべきと考える。袋の劣化は直射日光を避け発泡スチロールの箱に保管すると劣化しづらいためそのように使用していただきたい。

早乙女 議員

生ごみ処理機の助成をすることによって、生ごみを出す家庭が減れば、収集にかかる時間も短縮されて、収集作業にあたっての方の働き方改革にもつながる。今時期は雪の影響で収集作業されている方は大変な苦勞をされている。また、剣淵町では令和4年6月にゼロカーボンシティ宣言をしたので、収集車の運行時間が短縮されれば、排気ガスの排出量も減ると思うが。

早坂 町長

現段階では助成の決断をしかねる。





卯城規伊 議員

免税事業者から消費税の納税義務を負う「課税事業者」への移行を推奨すべきでは

町長 事業者の判断もあるがアピールはしたい

卯城規伊 議員

インボイスを発行できるのは適格請求書発行事業者として登録を受けた事業者に限られ、10月以降はインボイスがないと、事業者は自身が支払った消費税を客から受け取った消費税から差し引いて納税する「仕入れ税額控除」が原則できなくなる。このことはインボイスを発行できる事業者間での取引が主流となり、現在は免除されている小規模事業者が登録を受けないでいると取引から除外される恐れもある。免税事業者との入札その他の商取引をどう考えているのか。加えて登録は任意とされるが、免税事業者からインボイスを発行できる消費税の納税義務を負う「課税事業者」への移行を推奨すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

早坂 町長

指摘のとおり、買い手側はインボイス発行事業者以外の事業者との取引について「仕入れ税額控除」が原則できなくなるため、免税事業者のままだと取引を敬遠されたり、価格等の条件面で不利になる可能性があると想定されている。免税事業者との入札その他の商取

引については、町として「適格請求書発行事業者」の登録を受け、財務会計システムを改修する予定である。

町内事業者がこの制度を知らずに不利になることがないよう制度周知することが役割と考え、11月に商工会と町の共催で、税務署から講師を招き合同説明会を開催した。そのほかJA北ひびぎや商工会でもそれぞれ説明会を開催して周知に努めている。推奨ということではなく、町内事業者に向け情報提供として税務署などの説明会の案内などを継続していきたい。

卯城 議員

免税業者とは、売り上げが1千万円以下の事業者、消費税を納める義務はない、インボイスを発行することができない、仕入れ税額控除ができない。次に簡易課税制度選択事業者、基準期間の課税売上高が5千万円以下で届け出している事業者。事業区分によりみなし仕入れ率で仕入れ税額控除できる。あとは本則課税事業者となり、明確に区分されることになる。今までは本則課税事業者と簡易課税制度選択事業者と免税事業者が混在していた。互いにわからないなかで取引を続けてきた。このまま

では入札なり見積もりの金額が変わる可能性もある。今後10月以降、どのようにされるか伺いたい。

早坂 町長

町としては業者の皆さんにはインボイス制度を取り入れての取引をしていただければと考えているが、それぞれの事業者の判断もあることから、積極的とはならないが、アピールはしたいと思う。

卯城 議員

簡易課税制度選択事業者も納税事業者。町内の事業者の人たちもインボイス制度を選択して、移行していただければと考える。消費税は、売り手のものではなく、お客からの預かったもので差額を納めるだけ、事業者にとってはプラスもマイナスもない。この点のアピールも含めてお願いしたいが。

早坂 町長

消費税は買い手が子どもでも、払う税金。業種によってはインボイスの制度に移行する必要のない事業者もいるかもしれないが、啓発は行っていきたい。必要であれば今後も税務署に依頼して説明会を開催していきたい。



村上知世 議員

剣淵町の商業に関する政策と今後の見通しについて

町長 様々な支援策を講じているが、購買力の減少や町外への消費流出に歯止めがかかっていない

村上知世 議員

「剣淵町過疎地域持続的発展市町村計画」のなかに、「商工業者の減少が日常生活の利便性の低下につながり、人口の流出、消費者の減少による商工業者の減少といった悪循環が加速することが懸念される」とあるが「住み続けられる町」であるための具体的な政策と見通しを伺いたい。

早坂 町長

「住み続けられる町」であるが、不便なく日常生活を送りやすい環境づくりが基本と考える。商業に対する政策と今後の見通しについては「小売商業購買力流出防止対策事業補助金」「町内購買促進スタンプ事業補助金」「プレミアム付商品券事業補助金」など様々な支援策を講じてきているが、購買力の減少や町外への消費流出に歯止めがかかっていない。

村上 議員

目標とするのは、魅力ある商店街と自立した経済サイクルであり、商品券的なサポートでは根本的な解決にはならない。将来的には地元だけでなく、観光客をも引き込めるような商業力を持つために、様々な業種の個性的な新規起業者が入ることが、活気づくために最

短かつ有効な手段だと思つが、その辺りはいかがか。

早坂 町長

意欲のある人がお店を出して、剣淵でやっていただければ、活気のある形になっていくと思う。

村上 議員

現在、商工業支援は7つあるが、新規で外からすぐに利用できるものは、起業家支援事業補助金と商店街空き店舗活用支援事業補助金であり、空き店舗のほうは人脈や情報がなければ、外から見つけるのは難しい。町外の人が剣淵町に来て、起業しやすい環境づくりは考えられないか。

早坂 町長

相談の窓口として、総務課企画あるいは町づくり観光課に相談はできる。制度的に何かをとという部分については、もう少し研究の時間が必要と考えている。行政が投資の補助を出すことは、非常に難しい部分であり、これからの課題として受け止めていきたい。

村上 議員

過疎地への移住や起業を考えるとき、場所選びの決め手は経済的支援と地元住民との交流というデータがあるが、行政がPRや募集

を行い、民間でサポートする等、官民協働で大きな予算をかけずに新規起業者を誘致する方法は考えられないか。

早坂 町長

既存の商店もあるので、総合的に判断し、共存共栄していけるプログラムを考えていかなければならないと思う。

村上 議員

現在ある商店だけでは自然減していくと思われるが、商店の継承者の有無や、今後10年後、20年後の剣淵町の商店数や商業イメージはあるのか。

早坂 町長

確実な経営実績や継承者の有無ぐらひは掴んでいるが、実際に調べてはいない。だいたい想像する状況になっていくだろうというのはひしひしと感じている。

村上 議員

地域経済の負の循環を断つため、もう少し町外にも目を向け、町外からの新規起業者を獲得できるように意識してほしいが。

早坂 町長

そういう点も含め、研究したいと思う。

みんなの声 まちづくり

剣淵小学校 児童会長 田呂 耕一くん

剣淵の良いところ、足りないところは？

町民が協力して生活していると思います。
移動（交通）手段が少ないことです。

未来の剣淵はどんな町になっていたらいいと思いますか？

若い人や子育てしている人、高齢者まで幅広い世代が暮らしやすい町になってほしいと思います。



剣淵商工会女性部 山本 美香さん



剣淵の良いところ、足りないところは？

町民のみんなが優しく、暖かいです。
若い人達がもっと働ける場所があると良いと思います。

未来の剣淵はどんな町になっていたらいいと思いますか？

賑わいと活気がある町になって欲しいです。

議会だより141号をお届けします。
この誌面が届く頃には、春の訪れが感じられる様になっていると思います。
卯年は跳ねる年と言われており、
が、コロナ禍が収まり、一段ずつ確実に進んで欲しいと願っています。
広報委員も2年目を迎え、町民の皆さんの声を大切にしながら紙面を充実させていきたいと思っておりますので、何なりと意見をお寄せください。

(竹内)

編集後記



12月6日、令和4年度北海道社会貢献賞（自治功労者）表彰の受賞報告が行われ、議員として16年以上勤めた60歳以上の者として、卯城規伊議員が表彰されました。

表彰